

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）中間評価調査

都道府県名	山梨県	事業実施主体	山梨県・身延町・南部町	地域再生計画名	「森林・観光」資源を活用した身延町・南部町地域活性化計画
計画期間	令和3年度～令和7年度	評価責任者	山梨県 治山林道課長、道路整備課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		中間評価	達成状況		中間目標値の実現状況に関する評価	
	指標1	指標2	基準年度	最終年度	年度	中間実績	基準年度	最終年度		指標総数	達成数		
	指標1	観光入込客数の増加	1,521,233人	R1	1,521,672人	R5	1,233,246人	1,522,332人	R7	×	2	1	中間実績にて目標値を下回ったが、観光入込客数は前年度（1,149,688人）と比較すると増加傾向である。引き続き計画に則した整備を図り、最終目標値の達成を目指していく。
	指標2	主間伐搬出量の増加	17,845m3	R1	28,248m3	R5	31,032m3	37,474m3	R7	○	2	1	中間実績にて目標値を上回った。今後も更なる地域活性化に資するため、引き続き計画に則した整備を行って行く。
②事業の進捗状況	事業名			整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度 (R5)	最終実績 見込み								
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		1,730m	846m	1,629m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、49%であり、計画工程どおりの進捗となっている。引き続き、計画に則した整備を目指していく。							
	林道整備事業（整備延長）		3,106m	1,324m	2,664m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は43%と若干の遅れが生じているため、今後は更なる事業の進捗を図るため、十分な予算を確保しつつ最終目標値を達成できるよう整備を推進していく。							
その他の事業													
計画外で独自に実施した事業	森林環境保全整備事業		搬出間伐等の森林施業と一体になった林業専用道の開設を行う			林業専用道の開設を計画的に進めたことにより、林業経営の効率化の推進に寄与した。							
	おもてなし森林景観創出事業		森林景観形成・修景施業を行う			観光振興のための良好な自然環境及び景観の保全を図るため、森林景観形成・修景施業を実施した。							
	造林補助事業		計画的に植栽や間伐等の森林施業を行う			植栽、下刈り、間伐等に対し補助を行うことにより、林業経営の健全化に寄与した。							
	県有林収穫事業		県有林内における木材の収穫			県有林内において収穫事業を行い、木材の計画的・持続的な供給に寄与した。							
	山村地域活性化林道整備事業		山村地域における林道の整備			林道の改良や安全施設の整備に取組み、山村地域の振興に寄与するとともに、地域住民の通行の安全も確保した。							
③評価方法	中間評価委員会を開催し、中間目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。												
④中間評価の公表方法	山梨県、身延町、南部町のホームページに掲載												
⑤計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用して市道整備と林道整備を一体的に行うことにより、地域間のネットワーク網を整備することで、幹線道路等の渋滞を緩和しアクセス時間短縮を図り、観光入込客数や木材搬出量の増加により地域の活性化に寄与することを目的としている。 なお、指標1の観光入込客数の増については、目標値を下回ったが、観光入込客数は増加傾向である。引き続き計画に則した整備を図り、最終目標値の達成を目指していく、												
⑥今後の方針等	中間評価結果の反映状況						有りの場合その具体的内容						
	地域再生計画の見直し（有・無）												
	令和6年度予算要望額への反映（有・無） 有りの場合の増減額 千円												
⑦今後の方針等に対する対応													

地域再生計画 中間評価参考資料

都道府県名	山梨県		地域再生計画の名称	「森林・観光」資源を活用した身延町・南部町地域活性化計画			
施行主体	山梨県、身延町・南部町		計画期間	令和3年度～令和7年度			
地域再生計画の概要	<p>山梨県の南端に位置するこの地域は、日蓮宗総本山である身延山久遠寺を有し、和紙、花火、硯、印章、火祭りといった本県を代表する多くの伝統文化を継承する地域ともなっており、歴史ファンをはじめ、多くの観光客が訪れている。近年では、アニメによりこの地域が取り上げられたことで、多くのイベントやコラボ企画などが開催され、若い世代の観光客も増えつつある。また、森林域においては、保有山林面積規模の大きな経営体が多く、人工林率が高いため、利用時期を迎えた人工林の伐採搬出が今後増えていくことが期待される。中部横断自動車道による人や物の流れを、町道・林道を連携して整備し、観光ルート・木材流通ルートによる、地域産業の競争力強化に資する道路ネットワークの構築を図ることで本地域に取込み、地域の活性化に寄与する。</p>						
地域再生を図るために行う事業	<p>町道「塩之沢椿線」、「大崩線」、「奥山線」等の改良事業を行い整備を図る。また、県営林道「貫ヶ岳西線」、「地蔵峠線」等の開設事業、県営林道「湯之奥猪之頭線」等の改良事業を実施する。これにより、森林施業に必要な林道網の整備を行う。これらにより、町道・林道と既に整備済みあるいは今後整備予定である高速道路や県道等との連携が図られ、観光地間をつなぐ安全・安心なアクセスルート網が構築される。</p> <p>加えて、運搬ルートの構築により森林施業における効率化と生産コストを抑えることで、林業・木材産業の生産活動を向上させ、林業の振興を図っていく。また、住民の利便性向上や災害時の孤立への不安の払拭も図ることにより、地域産業だけでなく地域全体の活性化に寄与する。</p>						
主な計画道路の整備状況写真	身延町道 塩之沢椿線 (着工前) (R5末時点)		身延町道 大崩線 (着工前) (R5末時点)		南部町道 奥山線 (着工前) (R5末時点)		
							
主な計画道路の整備状況写真	県営林道 貫ヶ岳西線 (着工前) (R5末時点)		県営林道 地蔵峠線 (着工前) (R5末時点)		県営林道 湯之奥猪之頭線 (着工前) (R5末時点)		
							